

# 地域づくりで中学生など若者との意見交換は欠かせない 浦川原区で地域協議会と中学生が2度目の話し合い

浦川原中学校で17日、地域協議会と地元中学生との意見交換会がありました。主催は浦川原区地域協議会です。

開会の挨拶で藤田会長は、「18歳になれば皆さんにも選挙権が与えられ、大人としての責任が問われる。地域協議会についても知ってもらいたい」とのべました。また八木校長も、「地域のことを学ぶ原点は浦川原が大好きで、よくしようというところにある。話し合いの中で少しでもみなさんの心をだしてほしい」と挨拶しました。

今回の意見交換会は2度目、中身は地域活動支援事業の模擬審査を中学生にやってもらおうというものです。その過程で地域協議会委員と意見を交わす場面がありました。模擬審査の対象となったものは今年度、浦川原区内の団体から申請された各種事業のうち、「う

らがわら雪あかりフェスタ」「和太鼓を通じた青少年健全育成事業など5つです。審査にあたっては、「住民みんなの利益になるか」「すぐに必要な事業か」など浦川原

区の採択方針と審査基準に基づきましたが、生徒たちの議論の中身に注目しました。「おいちちゃんから子どもまで参加できるし、思いついたものが作れる」「雪との触れ合いができ、みんなが参加できる」など熱心な議論が続きました。審査が終わって、藤田会長は、「結果は地域協議会とほぼ同じだった」「こういう話し合いがこれからは大事だと思う」とのべておられました。

地域協議会の活動はどうあるべきか。いま、議会や各区地域協議会などで検討されていますが、こうした若い人との意見交換は、欠かせない取組にしなければなりませんね。



## 三和区で街宣

戦争法(安保法制)が参院本会議で強行採決されて1か月経過した19日、私は日本共産党上越地区委員会の橋本副委員長とともに三和区へ行き、街頭宣伝を行いました。

街頭からは、「野党は政策上に不一致があったとしても、戦争法を廃止する一点で力を合わせ、国



【タイリンヤマハッカ】シソ科の多年草。漢字で「大輪山薄荷」と書きます。葉の形は卵円形で先が割れ、亀の甲と尾のように見えます。この花が散ると、秋の花はアキノキリンソウくらいになってしまいますね。

民連合政府を作ろう」と岡木、柳林など5か所で訴えました。突然の街宣にもかかわらず仕事の手を休めて聴いてくださる方がありました。一番の反応は子どもたち、この子どもたちのためにも頑張らなければと改めて決意した街頭演説となりました。

## 太平洋戦争戦死者数など貴重な資料展示：「平和のための戦争展」

17日、市民プラザで開催されていた「平和のための戦争展」に立ち寄りしました。

ちょうど長谷川正さんの「戦争と国民学校」についての

講演中でした。時間があれば、話を聞きたかったのですが、展示を見るだけで失礼しました。それらの中には新潟県内の太平洋戦争死者数が6万5444人に上るなど貴重なデータがいくつもありません。同展には約200人が訪れました。



# はしづめ法一の活動レポート

No.1729 2015.10.25

発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第三七七回

## 母の涙

愛知県に住む弟が先日、帰省しました。お盆は商売の方が忙しいから九月に延ばすと  
言っていたのですが、その後、弟の都合で十月の下旬まで延びました。帰省は一年ぶり  
でした。

帰省すると、弟は必ず長峰温泉ゆつたりの郷で風呂に入り、帰省した日の夜は大湊区  
に住む弟などと一緒にわが家で食事会をします。また翌日は祖父・音治郎や父などが  
眠っている墓参りをし、その近くの親戚にも顔を出してきました。さらに、母を柏崎市  
にあるレストランへ連れて行き、ご馳走を食べさせてくれました。

弟は長年そうした流れで二泊三日の帰省期間を過ごしてきたのですが、今年はこれま  
でにない展開となりました。というのは、帰省の一〇日ほど前から母が体調を崩し、帰  
省当日はとくに悪い状態だったからです。朝からお医者さんに往診してもらい、ケアマ  
ネ（介護支援専門員）さんからも来てもらうなどせわしい日となっていました。

わが家に弟夫婦が到着したのは夕方五時少し前でした。二階に上がる階段の下に土  
産の品々を置くと、すぐに母が寝ている部屋に行きました。「かちや、帰って来たよ」と  
弟が言うと、母は「あら、ほんとだ。待ってたがど……。おりや、達者でいて、おま  
んからごつつお食いつんでつんでもらおうと思ってたがど」と言いました。弟には母の  
ことを事前に話しておいたのですが、口もきけないくらい悪い状態だと思っていたよう  
です。母がちゃんと話をしたので、「良かった、良かった」と繰り返し返しました。

恒例の夕食会は大湊区に住む弟の到着を待って、午後七時前から始めました。いうま  
でもなく母は布団に入って寝たままです。これまで母は、親子一緒にの食事会では必ずと  
言ってよいほど赤飯か押し寿司を作り、自慢の漬物や山菜料理、コンニャク料理などを  
用意していたのですが、今回はそれらをつくるどころか、食事会の仲間にも入れません  
でした。

夕食会で食べる物、飲み物のほとんどは愛知の弟が買ってきてくれたものです。各種  
の寿司パック、さつま揚げ風の食べ物コタツ板の上に並びました。これらは弟の購入  
品です。このほか、サラダ、レンコン、ニンジン、芋などが入った煮物もありました。  
こちらはこの日、母の世話をするために仕事を休んだ長女の手作りでした。みんなが美  
味しいといながら食べました。

お医者さんから手当てをもらったことが効いたのでしよう、それと二人の弟たち  
が来てくれたことも大きな励みになったのかも知れません。母は翌朝には目まいもお  
さまり、頭を上げられるようになりました。そして、私と妻、それに愛知の弟夫婦が居  
間でお茶を飲んでいたときでした。びっくりしましたね。母が寝室から立って、何事も  
なかったように、急ぎ足でトイレに行つたのです。その様子を見ていた私たちは、  
「えっ、何だあれは」といった表情で顔を見合わせました。

この日、愛知の弟夫婦は母が診療所に行くのを見送ってから帰路に就きました。長女  
の車に乗り込んだ母を見て、弟はシートベルトをつけてやるとすぐに母の手を握り、  
「かちや、元気だね」と言いました。その瞬間、母はがまんできなかったのでしょう、  
目から涙をぼろぼろと流し、タオルで顔をおおいました。

六年前の四月に父が死んだ時も、私が選挙で落選した時も涙ひとつ流さなかった母で  
すが、弟とはもう会うことができないとも思っていたのでしょうか、母のあふれる涙を数  
十年ぶりに見ました。

### 市内各地にコスモス街道

いま市内にはいくつものコスモス街道ができ、通行する人たちを楽しませてくれます。

写真は吉川区山直海地内のコスモス街道です。空には白いすじ雲、そして県道沿いには、赤、白、ピンクのコスモスが風に揺れていました。このコスモス街道はここ数年の中ではもっともきれいです。

### 玉ねぎの出荷準備作業

大島区菖蒲生産組合の女性のみなさんが玉ねぎの出荷準備作業に追われているところ（写真右上）を15日、おじゃましました。たくさんの玉ねぎの一番上の皮をむき、コンテナに入れていく作業でしたが、手なれた作業でした。玉ねぎはすべてJAえちご上越の農産物直売所、「あるるん畑」に出荷することでした。



### 小苗代池でオニバス咲く

吉川区小苗代の池でいま、オニバスの花が咲いています。ピンク色の花は遠慮がちに水面のところでつぼみを開いています。



### 上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのことです。

	10月14日(水)	10月21日(水)
上越南消防署	0.050	0.040
上越北消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.047	0.047
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.047	0.053
東頸消防署	0.043	0.040
高士分遣所	0.047	0.047
名立分遣所	0.053	0.053